

# 〔参考〕平成20年度当初予算について

## 1. 基本的な考え方

本県財政は、依然極めて厳しい財政状況が続いていることから、職員の臨時的給与カットの据え置きをはじめ、財政構造改革基本方針に沿った取組みはもとより、歳入歳出全般にわたる徹底した見直しを行っているところです。

こうした中、平成20年度当初予算においては、愛媛の未来の発展を見据えて、特別枠「輝くふるさと枠」や、「ゼロ予算事業」なども活用して、経済が低迷する南予地域の活性化に引き続き配慮するなど、これまで以上に政策の「選択と集中」による財源の重点的・効率的な配分に努め、「輝くふるさと愛媛づくり」に向けた県長期計画後期実施計画の具体化を図ることといたしました。

〔 「輝くふるさと枠」の活用による重点投資《47事業：6億9,960万円》  
「ゼロ予算事業」の活用《140事業、うち新規20事業》 〕

## 2. 平成20年度当初予算の規模

### (1) 予算の規模

会計別	20年度当初予算	19年度6月現計予算	前年度比
一般会計	5,862億5,000万円	6,060億6,700万円	3.3%
特別会計	1,491億8,400万円	239億900万円	524.0%
企業会計	561億8,000万円	573億4,100万円	2.0%
計	7,916億1,400万円	6,873億1,700万円	15.2%

平成20年度から公債管理特別会計を新設（1,310億3,000万円）

### (2) 歳入の状況（一般会計）

区分	20年度当初予算	19年度6月現計予算	前年度比
自主財源 (県税、諸収入、繰入金など)	2,872億4,900万円	2,875億5,400万円	0.1%
依存財源 (地方交付税、国庫支出金、県債など)	2,990億100万円	3,185億1,300万円	6.1%
合計	5,862億5,000万円	6,060億6,700万円	3.3%

### (3) 主な歳出内訳（一般会計）

区分	20年度当初予算	19年度6月現計予算	前年度比
義務的経費	3,062億2,900万円	3,080億1,700万円	0.6%
人件費	1,875億1,500万円	1,881億6,300万円	0.3%
公債費	1,021億5,900万円	1,040億9,800万円	1.9%
扶助費	165億5,500万円	157億5,600万円	5.1%
投資的経費	872億7,500万円	1,038億7,900万円	16.0%
普通建設事業費	826億2,700万円	990億8,800万円	16.6%
災害復旧費	46億4,800万円	47億9,100万円	3.0%
一般行政経費	1,927億4,600万円	1,941億7,100万円	0.7%
合計	5,862億5,000万円	6,060億6,700万円	3.3%

### 3. 『優先施策』関連事業の予算

ここでは、平成20年度当初予算(7,916億1,400万円)に占める「優先施策」関連事業のウエイトを示しています。

(注) 予算額は、一般会計、特別会計、企業会計の合計

